

令和3年9月21日

かほく市議会議長 猪村 博靖 様

予算決算常任委員会委員長 杉本 正一

令和2年度決算に係る議会による行政評価の結果について

標記の件について、総務建設分科会・市民文教分科会において審査が終了し、9月3日に開催した予算決算常任委員会において、別添の分科会長の報告並びに委員会で出た意見等をまとめ別添のとおり報告いたします。

予算決算常任委員会

議事録

議会による行政評価

日時：令和3年9月3日（金）

午前10時00分

会場：かほく市役所2階 議会会議室

1. 開会あいさつ

杉本正一委員長

2. 各分科会での審査結果の報告・質疑

添付の報告書により報告があった。

1) 総務建設分科会報告・報告に対する質疑

若者マイホーム取得奨励金に関して、転入者を多くしたいという狙いも理解できるが、転出抑制という観点からも市内在住者に対する手当を厚くすればどうかという評価に対して、市民文教分科会委員からも賛同する意見があった。

2) 市民文教分科会報告・報告に対する質疑

赤ちゃんすくすく事業に関して、総務建設分科会委員から今後の方向性として第4子以降の拡充を求めるとあるがどういった協議があったかを問う質疑があったが、多子世帯に対する支援は必要と考えるが、所管委員会として注目して欲しいという意見があった。

3. その他

- ・議会の「改善」という評価に対し、執行部は検討・協議したが改善されていない事業が見受けられる。
- ・事業評価シートが大きく変わったことに関して議員間で色々な意見交換があった。
- ・結局、事業評価シートは現状のままで、複数の課にまたがる事業に関しては、審査時に該当の課に揃って出席願うこととすればいいのではないかとということで落ち着いた。

4. 閉会あいさつ

大西副委員長

閉 会

令和3年9月3日

予算決算常任委員会
委員長 杉本 正一 様

予算決算常任委員会
総務建設分科会長 金子 猛

議会による行政評価報告書

総務建設分科会における審査が終了しましたので、「令和2年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 7月30日 審査対象事業抽出

現場視察 今年度はなし

8月24日 総務課、企画振興課、情報推進課

8月25日 都市建設課、産業振興課
結果集約

2. 審査方法 : 令和2年度事業評価
(第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業成果個票)
から抽出審査。

3. 審査結果 : 【全体評価】、特筆すべき【個別事業】及び【現場視察】について

【全体評価】

審査については、〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き審査を行った。

事業評価のシートが昨年度と違い、総合戦略推進計画に沿った形でのシートとなっており、最初は審査に少し戸惑ったものの、執行部の協力もあり、無事評価作業を終えることが出来た。

審査した事業においては、一定の効果があつたものもあれば、改善を要するものがあることから、引き続き職員の創意工夫や努力することを期待する。

【個別事業】

○ふるさと納税寄附金制度の推進（総務課）

地元企業の知名度向上、特産品のPR、自主財源の確保に貢献している。

引き続き、リピーター確保に向けて、継続拡充を期待する。

○空き家空き店舗の活用による賑わいの創出（企画振興課）

コロナ禍のなかで先は見通せないが、制度のPRを図り、引き続き空き家・空き店舗の活用促進を求める。

○移住定住及び定着に向けた経済的な支援（企画振興課）

移住・定住促進及び転出抑制の効果は出ており高く評価するが、転出抑制のため、若者マイホーム取得奨励金を利用する市内の人に加算をしてはどうか。

人口減を見据えてさらなる取り組みを求める。

○新技術を活用した行政機能の効率化（企画振興課、情報推進課）

デジタル化時代に即応し、対象業務を拡大させ、更なる事務の効率化、職員の働き方改革につなげ、庁舎内のデジタル化の推進を求める。

○国土強靱化地域計画の着実な遂行（都市建設課）

異常気象による災害に備えるこれまで以上の対策を求める。

国からの交付金の更なる有効活用をすることを求める。

○戦略的な企業誘致の推進（産業振興課、企画振興課）

県の産業立地課への民有地の登録件数を増やすことを求める。
民有地の利用を含めて、幅広く企業誘致を進めることを求める。

○がんばる中小企業に対する支援事業（産業振興課）

補助対象事業者を拡大し、利用しやすい制度への改善を求める。
商工会と連携し、補助制度の周知徹底を求める。

○地域農産物ブランド化事業（産業振興課）

後継者の育成と市外からの人材確保に努めることを求める。
更なるブランド力の向上に努めることを求める。

○北部交流ゾーンの賑わい創出（産業振興課）

道の駅高松の入込客数がコロナ禍で減少しているものの健闘していると思う。
地域おこし協力隊の募集は功を奏しなかったものの、地元で有望な人材がいるという
ことで期待する。

【現場視察】

○今年度は実施しなかった。

4. まとめ：

当分科会の所管には、社会資本整備を中心としたまちづくりや産業振興などの活性化、定住人口・交流人口の増加策の事業があり、今後新たな課題が想定される。

その課題については、時代に応じたニーズを的確に把握し、特色のある施策の展開を期待し、更なる活力のあるまちづくりに期待する。

改善とした事業については来年度の「議会による行政評価」でどう改善されたかを問うこととしたい。

以上

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	総務課秘書室	ふるさと納税寄附金制度の推進	—	10

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	25	25

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
6	6 きわめて良好である 100点	100
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の見込みと課題について確認。 ・人気がある返礼品を確認。 ・バランスよく特産品が出るように工夫を求める。 ・天候不順による農産物の価格について確認。 ・返礼品の発送方法について確認。 ・今後もさらなる自主財源確保に期待する。 ・リピート率について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	地元企業の知名度向上、特産品のPR、自主財源の確保に貢献している。 引き続き、リピーター確保に向けて、継続拡充を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	企画情報課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	—	3

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における新規開業状況について確認。 ・補助金の返還規定について確認。 ・かほく市に来てよかったと思ってもらえるように、人的支援も期待する。 ・事業者に関連保証人を求めたが、補助金としては馴染まないことを確認。 ・申し込み状況、相談状況について確認。 ・キッチンカー（移動販売車）は補助対象になるか確認。 ・空き家バンクの積極的な活用を求める。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	コロナ禍のなかで先は見通せないが、制度のPRを図り、引き続き空き家・空き店舗の活用促進を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	企画情報課	移住定住及び定着に向けた経済的な支援	—	12

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	25

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	95
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
1 不適正である 0点		

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・新婚さん住まい応援事業補助金の昨年度の指摘事項について確認。 ・定住促進のアンケート調査実施の有無について確認。 ・新婚さん住まい応援事業補助金を利用し、若者マイホーム取得奨励金も利用した人の件数を確認。 ・補助金の対象者について確認。 ・若者マイホーム取得奨励金の利用者の市内、市外、県外の割合を確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	移住・定住促進及び転出抑制の効果は出ており高く評価するが、転出抑制のため、若者マイホーム取得奨励金を利用する市内の人に加算をしてはどうか。 人口減を見据えてさらなる取り組みを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
1 休止・廃止する		
拡充する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	企画情報課	新技術を活用した行政機能の効率化	—	24

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化時間数について確認。 ・RPAのデメリットについて確認。 ・オンラインでの手続きについて確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	デジタル化時代に即応し、対象業務を拡大させ、更なる事務の効率化、職員の働き方改革につなげ、庁舎内のデジタル化の推進を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	拡充する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	企画情報課	国土強靱化地域計画の着実な遂行	—	22

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化地域計画の期間について確認。 ・防災・減災の観点から大雨による河川氾濫について確認。 ・線状降水帯に備えて対策をしっかりとっておくことを確認。 ・大雪時における児童の通学路確保について確認。 ・国からの交付金を有効活用することを確認。 ・計画的な河川の浚渫について確認。 ・河川の監視カメラについて確認。 ・時間雨量100ミリに耐えうる河川改修及び急傾斜地について確認。 ・道路の区画線の計画的修繕について確認。 ・国道159号の高松中～二ツ屋の歩道拡幅整備事業について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	異常気象による災害に備えるこれまで以上の対策を求める。国からの交付金の更なる有効活用をすることを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
拡充する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	産業振興課	戦略的な企業誘致の推進	—	1

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度が創設された年限及び助成件数について確認。 ・新規の企業誘致の件数及び経緯について確認。 ・新しい雇用の場を創出する重要性を確認。 ・企業立地条件の環境整備及び企業が撤退した場合の助成金返還に関する規定整備について確認。 ・宿泊施設や入浴施設の過去の誘致計画について確認。 ・民有地の活用で県の産業立地課への登録状況について確認。 ・民有地を含めた市全体の工場立地候補地の確保について確認。 ・工業団地の造成について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	県の産業立地課への民有地の登録件数を増やすことを求める。 民有地の利用を含めて、幅広く企業誘致を進めることを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	産業振興課	がんばる中小企業に対する支援事業	—	4

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	10

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
1 不適正である 0点		

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度の実績が0件であった「特産品等開発支援事業補助」と「企業PR活動支援補助」の内容を確認。 ・当メニューの創設年及び改善点について確認。 ・企業PR活動支援補助の対象及び商工会との連携について確認。 ・上記の2つの補助メニューの対象事業者を広げるよう提言。 ・ホームページの作製費も補助対象になるかを確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	補助対象事業者を拡大し、利用しやすい制度への改善を求める。 商工会と連携し、補助制度の周知徹底を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
1 休止・廃止する		
改善し継続する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	産業振興課	地域農産物ブランド化事業	—	5

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		75

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の用途について確認。 ・規格外品の取り扱いについて確認。 ・安定供給に資するような施策を求める。 ・後継者減少の問題や出荷量減少の問題について確認。 ・高松ぶどうのブランド力を高める施策について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	後継者の育成と市外からの人材確保に努めることを求める。 更なるブランド力の向上に努めることを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	産業振興課	北部交流ゾーンの賑わい創出	—	32

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

<p style="text-align: center;">決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区の施設、催し事（ウォーキングなど）を連携させての賑わいを創出することを確認。 ・道の駅が市内業者と連携して食品ロス回避し販売するなどについて確認。（道の駅間の競争） ・北部交流ゾーン振興ビジョンの実現化にむけて積極的な取り組みをすることを提言。 ・地域おこし協力隊の応募状況について確認。 ・難しいテーマではあると思うが活性化に向けて取り組んでほしいと提言。
--

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	道の駅高松の入込客数がコロナ禍で減少しているものの健闘していると思う。 地域おこし協力隊の募集は功を奏しなかったものの、地元で有望な人材がいるということで期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

令和3年9月3日

予算決算常任委員会
委員長 杉本 正一 様

予算決算常任委員会
市民文教分科会長 丸井 一範

議会による行政評価報告書

市民文教分科会における審査が終了しましたので、「令和2年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 7月30日 審査対象事業抽出

8月17日 現場視察

①大海西山弥生の里：塹穴式復元住居茅屋根葺替工事

②七塚小学校：長寿命化改修工事(竣工) 及び

GIGA スクール構想端末等整備

③うのけ総合公園：少年野球場整備工事

(照明塔、スコアボード、スタンド棟の改修)

④上山田貝塚：急傾斜地防護工事

⑤防災行政無線操作卓更新工事

8月19日 保険医療課、長寿介護課、健康福祉課
子育て支援課

8月20日 学校教育課、生涯学習課、スポーツ文化課
結果集約

2. 審査方法 : 令和2年度事業評価
(第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業成果個票)
から抽出審査。

3. 審査結果 : 【全体評価】、特筆すべき【個別事業】及び【現場視察】について

【全体評価】

審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き評価を行った。昨年度と違い、かほく市創生総合戦略推進計画（R2～R6）に沿った形での評価となっており、前述の項目の他、まち・ひと・しごとと創生に関する5つの検討項目も念頭に置きながら、評価した。

また、昨年度評価した項目についても再度審査したが、審査した項目の中には、他部署に関係する項目も含まれており、評価に苦勞した。

全般的に将来ビジョンを見据えた良い取り組みをしていると評価する。引き続き事業の創意工夫、努力を期待する。

【個別事業】

○妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援（保険医療課）

3つの課が連携して切れ目のない子育て支援を実施しており、それぞれに4事業を通じて、安心して子育てできるサポート体制であるが、一つ一つを見ると拡充する必要がある事業もある。

不妊不育対策事業については、長く子育てしながら住んでいただけるようなルール作り、赤ちゃんすくすく応援事業については、第4子以降の拡充を求める。

○新技術を活用したまちづくりの推進（長寿介護課）

60代以上の元気な高齢者の皆さんのセカンドライフをサポートする重要な事業であると考えます。コロナ禍において、家族に会えない中、スマートフォンやパソコンを使いコミュニケーションをとる時代であり、高齢者が取り残されないためにIT機器を使いこなせる。または触れる機会を作る必要は極めて重要である。

また、仕事をしている高齢者もいらっしゃるのので、夜間の講座または開催場所を増やすこと、さらなる周知を期待する。

○障害者の暮らしの安全と生きがいづくり（健康福祉課）

障害者の方が自立するために必要な事業であるが、障害者と雇用する方のマッチングが難しい現状がある。雇用者側の意見を聞きながら雇用しやすい環境を整えることと共に事業の在り方を変える必要があるのではないかと考える。

産業振興課との連携は不可欠である。

○幼児教育の環境整備（子育て支援課）

予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる事業である。幼児教育をより充実していくために、思考力、判断力、表現力の基礎、就学前に必要な力をつけることができるのではないかと。

また、保育士の研修においても積極的に行い、コロナ禍においてオンラインでの研修も行っており、感染症対策も行っているが、引き続き幼児・保育士はすこやかな教育と保育を整備していただきたい。

幼小連携協議会の成果も期待する。

○学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実（学校教育課）

国と県と市で継続的に学力調査を行うことで、身につけるべきことを具体的に把握しきめ細やかな授業に反映をされている。また、学力調査に特化した授業を行っていないことで必要な指導ができる可能性がある。35人以下学級についてはきめ細やかな学習環境が整えられるとともにコロナ禍において児童生徒のソーシャルが保てる面においても評価する。

○西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発（生涯学習課 哲学館）

全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎ゆかりの地などでの講演会の開催、共通道徳によるふるさと教育などを通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成に努力している。

今後はさらなるPRとして、近隣の小中学校での出前講座や西田幾多郎先生および高橋ふみさんのストーリーを紙芝居や寸劇で紹介することを提案する。

○する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出（スポーツ文化課）

（仮）かほくスポーツコミッション組織設立に向けた事業についてスポーツ振興及び地域活性化とトップアスリート発掘・育成・強化するということだが、本来のスポーツは楽しむということが大事であり、市民にスポーツを楽しめるような事業であるよう期待する。

4. まとめ

当分科会の所管は、少子高齢化に対する新たな課題、子育て、教育に関する課題、また文化と教養を育むための課題、生きがい確保に対する市民ニーズの創設などが求められる。

行政の課題、市民ニーズを的確に捉え、時代に即した柔軟な施策と制度設計を期待する。

以上

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	健康福祉課 <small>（子育て支援課、保険医療課）</small>	妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援	—	15

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成事業の償還払いを確認。 ・アンテナを高くして、他市町の事業などの情報収集し、積極的に事業展開を求める。 ・不妊不育対策事業は、企業誘致と同じように制限などの導入を求める。 ・赤ちゃんすくすく応援事業の拡充を求める。（第4子以降）

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	3つの課が連携して切れ目のない子育て支援を実施しており、それぞれに4事業を通じて、安心して子育てできるサポート体制であるが、一つ一つを見ると拡充する必要がある事業もある。 不妊不育対策事業については、長く子育てしながら住んでいただけるようなルール作り、赤ちゃんすくすく応援事業については、第4子以降の拡充を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
拡充する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	長寿介護課	新技術を活用したまちづくりの推進	—	23

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	25	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		90

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢を確認。 ・毎月、広報かほく（いきいきカレンダー）に記事を掲載していることを確認。 ・おしゃべり会で、畑などの外での活動も考えていることを確認。 ・IT技術を活用した講座を開催していくことを確認。 ・いきいきステーションの定員は、コロナ禍のため4～6人程度であることを確認。 ・もっと幅広い方に知ってもらうため、CATVなどでも教室での映像を放送することを求める。 ・知らない人が多いと思われるので、さらなる周知を図ることを求める。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	60代以上の元気な高齢者の皆さんのセカンドライフをサポートする重要な事業であると考えます。コロナ禍において、家族に会えない中、スマートフォンやパソコンを使いコミュニケーションをとる時代であり、高齢者が取り残されないためにIT機器を使いこなせる。または触れる機会を作る必要は極めて重要である。 また、仕事をしている高齢者もいらっしゃるの、夜間の講座または開催場所を増やすこと、さらなる周知を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	拡充する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	健康福祉課	障害者の暮らしの安全と生きがづくり	—	29

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	15	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点整備の検討は、令和2年度から開始したことを確認。 ・障害者が支援員に就労の相談をしていることを確認。 ・商工会と連携し、障害者の仕事のマッチングを進めることを求める。 ・健康福祉課と産業振興課でさらに連携を密にし、事業の拡充に取り組むことを求める。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	障害者の方が自立するために必要な事業であるが、障害者と雇用する方のマッチングが難しい現状がある。雇用者側の意見を聞きながら雇用しやすい環境を整えることと共に事業の在り方を変える必要があるのではないかと考える。 産業振興課との連携は不可欠である。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	子育て支援課	幼児教育の環境整備	—	17

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・予算の縮小の理由について確認。 ・家庭での教育へのアプローチについて確認。 ・保育士のオンラインでの研修について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	<p>予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる事業である。幼児教育をより充実していくために、思考力、判断力、表現力の基礎、就学前に必要な力をつけることができるのではないかと。</p> <p>また、保育士の研修においても積極的に行い、コロナ禍においてオンラインでの研修も行っており、感染症対策も行っているが、引き続き幼児・保育士はすこやかな教育と保育を整備していただきたい。</p> <p>幼小連携協議会の成果も期待する。</p>
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	学校教育課	学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実	—	19

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		90

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 35人以下学級と40人以下学級の違いについて確認。 ・ 決算額が大幅に増えている理由について確認。 ・ 学力テストの対策をしているかについて確認。 ・ 少人数学級と学力調査の相関関係について確認。 ・ 特認校制度のPRについて確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	国と県と市で継続的に学力調査を行うことで、身につけるべきことを具体的に把握しきめ細やかな授業に反映をされている。また、学力調査に特化した授業を行っていないことで必要な指導ができる可能性がある。35人以下学級についてはきめ細やかな学習環境が整えられるとともにコロナ禍において児童生徒のソーシャルが保てる面においても評価する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	生涯学習課(哲学館)	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	—	34

1 項目別評価

	(1)必要性	(2)妥当性	(3)費用対効果	(4)成果
評価点	25	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		75

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など (300字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビで哲学講座を放送するなどをしてPRを図るべき。 ・資料のデジタルアーカイブ化は高く評価する。 ・近隣の中学校の道徳授業の一環として哲学入門講座を実施してはどうか。 ・哲学館と道の駅とコラボして、集客の推進を求める。 ・紙芝居などでわかりやすいPR方法の検討を求める。 ・高橋ふみにも焦点を当ててもらいたい。 ・哲学館の目立つ案内看板の設置を求める。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など (400字以内)
5	6 拡充する	全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎ゆかりの地などでの講演会の開催、共通道徳によるふるさと教育などを通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成に努力している。 今後はさらなるPRとして、近隣の小中学校での出前講座や西田幾多郎先生および高橋ふみさんのストーリーを紙芝居や寸劇で紹介することを提案する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和2年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	スポーツ文化課	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	—	31

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	15	20	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッションの設立に向けた取り組みについて確認。 ・激励費の支給基準について確認。 ・部活動とクラブチームの状況について確認。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	(仮) かほくスポーツコミッション組織設立に向けた事業についてスポーツ振興及び地域活性化とトップアスリート発掘・育成・強化するということだが、本来のスポーツは楽しむということが大事であり、市民にスポーツを楽しめるような事業であるよう期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	